

保育のヒント～「科学する心」を育てる～

渦を作ろう～試す～／岡崎市稲熊保育園

子どもたちは、水との関わりで、どのようなことに気付いたり興味をもったりしていますか？

事例の子どもたちは、排水溝に流れていく水の渦を見て、興味をもちました。そして、今までの経験を活かし渦を作ることを試し始めます。子どもたちが、自由に試せるように場や時間を保障したり、環境を提示したりなど、一人の子どもの興味から始まったことを大切に援助をしている園の実践をご紹介します。



虹色の渦を作ってみよう！／5歳児

✿ 渦ってなに？

- Aちゃんは、トイレで二度三度と水を流し、その様子を見ていて、なかなか出て来ないことがある。ある日、プール遊びが終わり、プールの底の栓を外すと、水が流れていく様子をプールサイドで、じっと見て「先生どうやって渦を作ったの？」と言う。

保育者：「本当だ、渦が見えるね。どうしてだろう？」
他の子どももその言葉に反応して、渦を見て考えを出し合った。
Aちゃん：「水の音もするね」
Bちゃん：「うん、すごい勢いだよね」
Cちゃん：「でも僕の家でも見たことあるよ」
Bちゃん：「あ！お風呂で見たことある」



- いろいろな考えが出て、次第にみんなで渦を作ってみようという話になる。そして「水がいっぱいあるから、プールでやってみたい」ということになった。
- 初めはそれぞれ手で水を回したが、あまりうまくできない。回っているが、すぐに渦が消える為、みんな納得がいかず考え込んでいた。
- Bちゃんの「洗濯機遊び、すればいいんだよ」の声に、試すことになる。
- 洗濯機遊びは、皆で手をつないで丸くなり、一人置きに座って立っている子が歩いて回る遊びで、何度もしたことがある。その遊びで渦ができていたかみんな覚えてはいなかった。
- プールの中で丸くなり、くるくる回るが、なかなか渦が見られない。もっと早く走ろうと意見が出る。Gちゃんが「みんなで手を離して丸く走ったらできるかも」と言うので、早速試してみる。みんなで時計回りに走り、しばらくして座ると、体が流されるような感覚があった。

Cちゃん：「渦って見えないね」
Aちゃん：「なんでトイレやプールでは見えたんだろう」
Bちゃん：「下から水が出ていくからじゃない？」
Fちゃん：「そうだよ。きつと！」
Gちゃん：「先生ペットボトルを逆さまにして水を流すと渦が見えるよ」

- ほかの子どもたちもペットボトルを使って試し始める。

Dちゃん：「本当だ。ぼくもできた」
Fちゃん：「水ってすごい」
Aちゃん：「グルグル回してからやってみる」
Aちゃん：「すごい！渦が大きくなる」
Cちゃん：「見て見て！早く回して流すと、出た水も渦になってる」
Dちゃん：「指で穴を小さくしたらゆっくり渦になるよ」
Gちゃん：「水がキラキラしてきれいだね」「手で回しても、渦ができた」
保育者：一人一人の試し方を認めたり、驚きに共感したりする。



✿ 虹色の渦を作ろう 8月

- 夕立が過ぎ去り、空に虹がかかった。その虹を子どもたちといつまでも見ていた。するとFちゃんがみんなに「虹色の渦を作ってみよう」と言った。

Aちゃん：「虹色の渦？」
Fちゃん：「虹色のキラキラした渦できないかな？」
Cちゃん：「虹色の渦を作ろう！」
Aちゃん：「どうやって？」

- 虹色の渦をどうやって作るか話し合った。

Bちゃん：「絵の具をたらしてみたら？」
Fちゃん：「絵の具混ざっちゃわないかな？」
Aちゃん：「混ざったら面白いよ」「ペットボトルの中に絵の具をたらそう」
Bちゃん：「うん。やってみよう」と、さっそく試してみる。
Cちゃん：「絵の具が混ざって、抹茶色になっちゃった」「渦はできてるけど…」
Fちゃん：「絵の具が混ざらないようにどうする？」

- 絵の具が混ざらないようにする方法を考え合った。

Bちゃん：「絵を描いた時に、絵の上に水をこぼしたんだ。その時、いろいろな色の水ができたよ！」
Aちゃん：「虹の絵を描いてその上から水を流すと、できるかな？」
Cちゃん：「渦にならないね！」
Dちゃん：「どうやって渦にするの？」
Aちゃん：「グルグル回せばいいんじゃない？」
Bちゃん：「プールの水でやろうよ。栓をとればいいじゃん」
Fちゃん：「プールの栓は危ないよ。僕たちも吸い込まれちゃうよ」
Aちゃん：「じゃあ、足洗い場でやってみよう」
Bちゃん：「穴もあるしね」



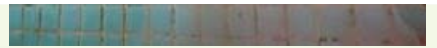
- さっそく好きな色の絵の具を用意し、足洗い場に水を張る。（栓は、すぐに外さなといけないため、ビニールと雑巾で止めることにした）

Aちゃん：「いくよ」
Bちゃん：「わあ！すごい！雲みたいにモクモクしてる」
Fちゃん：「色と色が混ざってきたよ」
Aちゃん：「雑巾外すよ、せーの」
Fちゃん：「吸い込まれてくよ」
Bちゃん：「すごいー」「わあー、できた！できた！」
Aちゃん：「渦もできてる」



Fちゃん：「虹色の渦ができたね」

Bちゃん：「どんどん虹色の水が入っていく」



- 水が吸い込まれる時にゴゴゴゴという音がした。

Fちゃん：「すごい音、怪獣の声みたい」

Aちゃん：「うん、怪獣に飲み込まれちゃったね」

Fちゃん：「もう一回やりたい」

Aちゃん：「うん、やろう」

Bちゃん：「綺麗だったね」

Cちゃん：「もっと、違う色も入れる？」

Aちゃん：「今度は白と黒も入れたい」



- 次は、白と黒も入れて楽しんだ。

✿ 活動を振り返って

- 一人の子ども小さな不思議から始まった“渦作り”は、みんなで考えたり試したりして、広がっていき、水への興味が深まっていった。
- 渦から始まったが、水の性質について、水の勢いや水の音への疑問も深まり、色の不思議にも着目している。今後も水の不思議を子どもたちと楽しんでいきたい。また、渦についても、今回は水の中の渦に着目したが、カタツムリの殻、蚊取り線香など、渦の形が沢山あることを子どもたちは教えてくれた。渦への興味も、まだまだ広がっている。引き続き渦探しを子どもと共に、していきたい。

無断転載を禁ず。引用する場合は右記を必ず明記願います。「(C)公益財団法人 ソニー教育財団 ソニー幼児教育支援プログラム 幼児教育保育実践サイト <http://www.sony-ef.or.jp/sef/preschool/>」